編集後記

カレンダーも最後の一枚となりました。本年も当院の活動にご理解をいただき、心より感謝申し上げます。忙しい年末かと存じますが、風邪など召されぬよう温かくしてお過ごしください。来る年もどうぞよろしくお願いいたします。

東京都立松沢病院 令和7年度 第5回 認知症講座

令和7年度第5回認知症講座「「あれ？おかしいな」を放置しない～MCI（軽度認知障害）のサインと関り方～」を開催します。

都内在住で認知症をお持ちのご本人、そのご家族、都内の介護・福祉・医療関係者が対象です。皆様のご参加をお待ちしております。

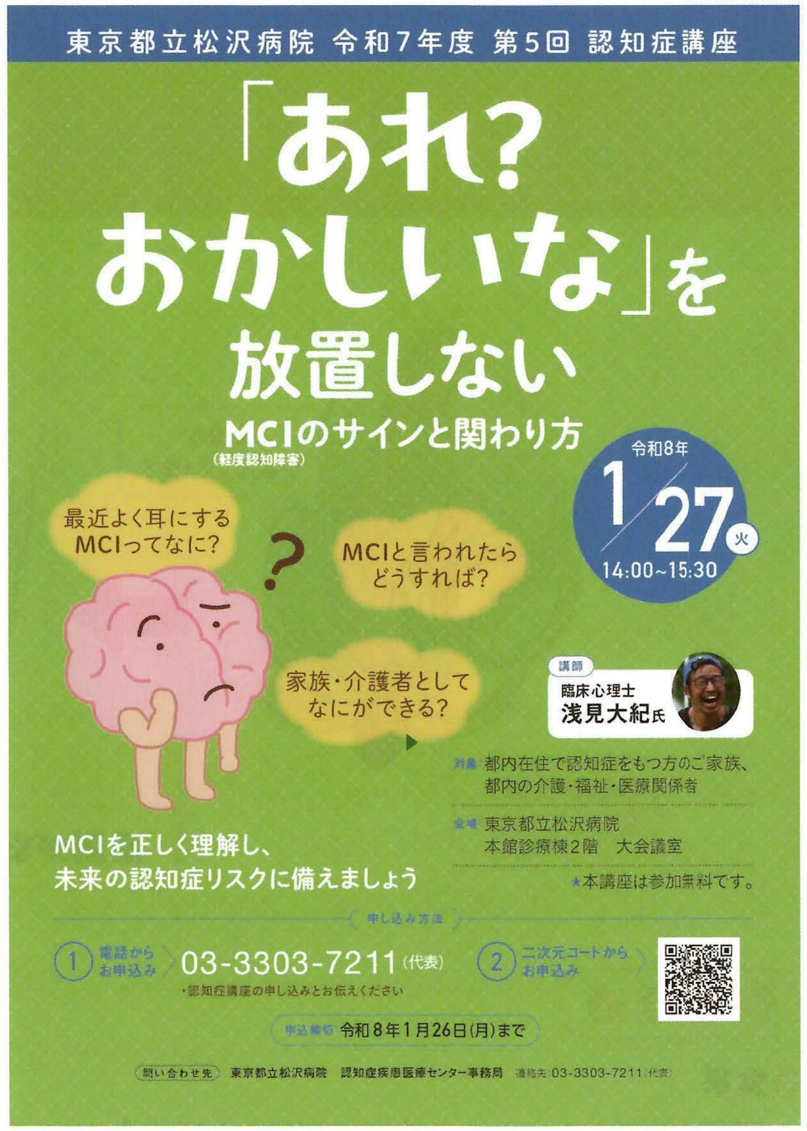
【講師】

臨床心理士
浅見 大紀氏

【日時】

1月27日（火）
14:00～15:30

お申込みは こちらから ▸▸▸



外来診療のご案内

初めて診療を希望される方

◆松沢病院では、初診予約制を導入しています。
事前に予約センターで予約をお願いいたします。

- 精神科 ● 内科（一般・専門） ● 外科
- 整形外科 ● 形成外科 ● 脳神経外科
- 麻酔科 ● 歯科

初回にご持参いただくもの

- 紹介状
- 健康保険証
- 各種医療券
- 診察券（松沢病院の診察券をお持ちの場合）
- レントゲンフィルム・検査結果等（必要な場合のみ）

◆診療の予約は
「**予約センター**」（03-3303-8379）に
お電話ください。
予約受付時間 月～金曜日 8時30分～17時15分
土曜日 8時30分～12時45分

◆当院精神科通院中で
緊急の受診や緊急入院が必要な場合は
代表番号03-3303-7211に
お電話ください。

東京都立松沢病院
TOKYO METROPOLITAN MATSUZAWA HOSPITAL

発行：地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立松沢病院
〒156-0057 東京都世田谷区上北沢2-1-1
TEL:03-3303-7211(代)
予約センター:03-3303-8379
●京王線「八幡山」駅から西門まで徒歩1分
●小田急線「経堂」駅から京王バス「八幡山駅」下車 西門まで徒歩1分

登録番号 2025年度第3号

Copyright© Tokyo Metropolitan Matsuzawa Hospital, All rights reserved.

こころに、深呼吸。
vol. 78
2025 December

松沢病院通信

10月1日より新副院長が就任しました。
今号では新副院長のご挨拶また直腸脱専門手術について紹介いたします。

副院長就任のご挨拶

2025年10月より副院長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

1996年に東京大学を卒業し精神科医となりましたが、当時、身体疾患を併発した精神科患者さんが内科や外科で受け入れを断られる現実に直面し、強い危機感を覚えました。この経験から、現在の初期研修に相当する2年間を一般内科や総合診療科で過ごし、身体疾患への理解を深める道を選びました。

その後、精神科単科病院、民間の一般病院、大学病院を経て精神科臨床一筋に歩む中で、30年目を迎える節目の年に、精神医療の最前線である松沢病院で働く機会をいただけたことを大変光栄に感じております。同時に、「誰ひとり取り残さない精神科医療」という崇高な目標を胸に、その責任の重さも痛感しております。

社会がめまぐるしく変化する今、精神医療に求められる役割も大きく様変わりしています。先人が築いてきた知恵と経験を最大限に継承しつつ、目の前で起きている新しいニーズに柔軟に応えられる――そのような病院づくりに全力で取り組んでまいります。

救急・身体合併症・摂食障害・依存症・認知症・思春期医療・外国人診療・医療観察法医療など、タフで幅広い臨床を支える次世代人材の育成は、当院の未来を左右する重要な使命です。同時に、病院の枠を越えて力と知恵を結集すべき課題でもあります。また、このたび災害医療体制の責任者も併せて拝命しました。有事に確実に機能する災害拠点精神科病院・災害拠点連携病院として体制整備を進めてまいります。

皆さまの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副院長 **近藤 伸介**

直腸脱 専門手術の紹介

文と図 外科 和氣仁美

直腸脱とは？

肛門から直腸が反転して出た状態で、特に高齢女性に多く見られます。妊娠・出産や加齢に伴う骨盤底筋の緩み、便秘、排便時のいきみによって起こります。過度な腹圧（トイレで長時間いきむ習慣のある方）、では若い方でも発症します。

症状

- 排便時の腸の脱出
- 肛門痛、出血
- 排便障害（便秘や失禁）
- 肛門の違和感、圧迫感

自然経過

直腸脱は放置すると悪化し、歩行困難・便失禁・引きこもり・寝たきりの原因にもなります。患者さんの生活の質と尊厳が著しく損なわれ、介護者の負担も増加します。

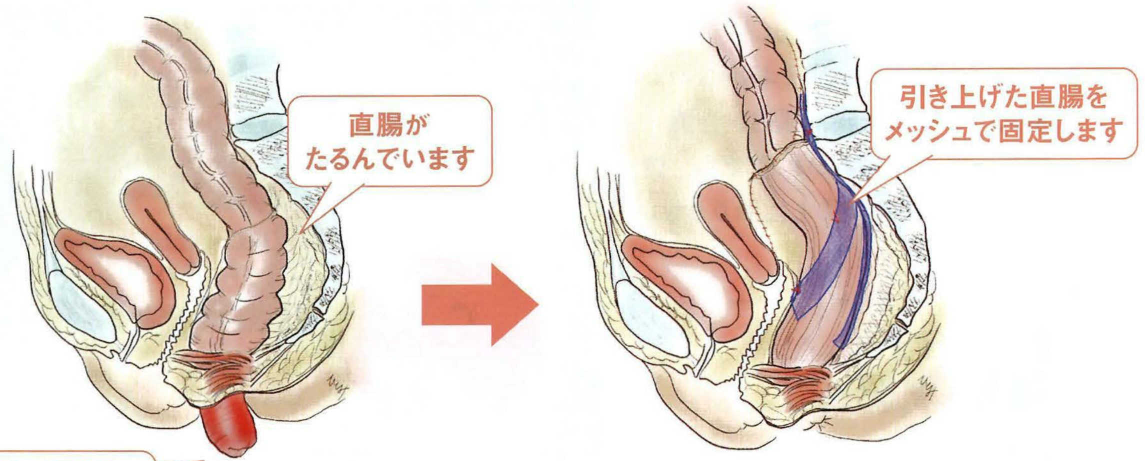
直腸脱が悪化することで、トイレへの引きこもりの時間が増えたり、不快感から精神症状が悪化し、さらに過度にいきむことで、負のループに陥ることもしばしばです。

手術方法

腹腔鏡下神経温存前後方メッシュ固定術（梅谷法）とは

たるんだ直腸を引き上げます。そして、柔らかいポリプロピレン製のメッシュを用いて直腸を面で固定します。メッシュの一部を仙骨に縫合して固定することで、直腸に負担がかかることなく、引き上げた状態で固定します。

メッシュを使用した腹腔鏡手術は多数ありますが、当院では便秘やメッシュトラブルが起こりにくく、再発率の低い本術式を行っております。



直腸がまっすぐになり、排便がスムーズに

術後経過

●食事

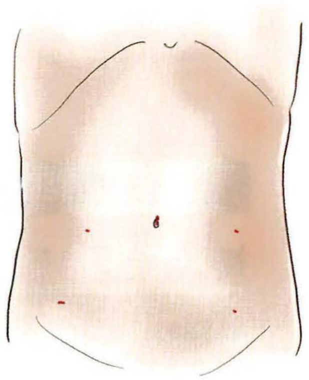
腸管を切除しないため、手術の翌日から通常食が食べられ、すぐに退院できます。

●生活

日常生活に制限はありません。

●術後に注意していただきたいこと

術後数日は、排便しづらく、残便感があっても、全部出し切ろうといきむのはさけてください。特に、術直後の2週間は強くいきまないようにしてください。その期間をすぎるとメッシュが完全に固定されますので、全く制限は不要となります。



小さな傷なので
目立ちません

終わりに

一般病院での対応が難しい精神疾患をお持ちの方も、当院では精神科と外科が連携し、安心して手術を受けていただけます。再発症例にも対応可能です。

精神疾患がない方も、当院は一般病棟がありますので、手術を受けていただけます。

悩んでいる方はどうぞお気軽にご相談ください。